

令和2年度京都工芸繊維大学昆虫先端研究推進拠点
共同研究課題一覧

No.	新規・継続	研究代表者	所属	職名	研究課題名
1	新規	笠井 高士	京都府立医科大学 神経内科学	講師	PGK1 enhancerによる新しいパーキンソン病根本治療パラダイムをPgkノックダウンショウジョウバエモデルを用いて検証・改良する
2	新規	澤村 京一	筑波大学 生命環境系	准教授	核膜孔複合体の構築に必須なタンパク質ELYSの機能解析
3	継続	松田 修	京都府立医科大学大学院医学研究科	教授	ショウジョウバエ腫瘍モデルを用いたヒト自然免疫ペプチドの抗腫瘍作用の検討とその作用メカニズムに関する研究
4	継続	倉石 貴透	金沢大学医薬保健研究域薬学系	准教授	ヒト由来腸内細菌を定着させたヒト化消化管ショウジョウバエの作出と機能解析
5	継続	矢野 修一	京都大学農学研究科	助教	アリの足跡物質に対するハダニの忌避性
6	継続	樋口 雄二郎	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座 脳神経内科・老年病学	医員	シャルコー・マリー・トゥース病とミトコンドリア病モデルショウジョウバエの開発と病態解析
7	継続	高松 芳樹	公益財団法人東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能研究分野 パーキンソン病研究室	主任研究員	パーキンソン病モデルフライのミトコンドリア機能及び形態の異常を改善させる化合物の探索
8	継続	JANTRAPIROM Salinee	Department of Pharmacology, Chiang Mai University	Dr.	Neurochemical and behavioral regulation under ubiquitin deficiency using Drosophila melanogaster as a model organism
9	継続	千代延 友裕	京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学	学内講師	ショウジョウバエを用いたリボソーム生合成異常による神経障害の病態解明
10	新規	佐藤 健司	京都大学大学院 農学研究科 応用生物学専攻 海洋生物機能学分野	教授	ショウジョウバエ早期老化システムを用いて同定したD-プロリンの作用メカニズム
11	継続	SHINYA YAMAMOTO	Department of Molecular and Human Genetics, Baylor College of Medicine	Assistant Professor (Tenure-Track)	Establishment of a genetic tool-kit to humanize Drosophila genes for studies of rare and undiagnosed human diseases.